

官房控

警保徵發

書政務官回付(決行前)

(決行後)

審案
筆記者

整備局戰備課

保存期限

番號

受領

陸軍

海軍

空軍

八三二

起元廳(課名)

總動員物資使用收用令制定件(關聯諸議定)

(裁決)行決後覽回		帶連		決行指定		決裁指定		件名		官房控	
長(部)局	長(部)局	軍務	臣大	板垣	官次	官次	務政	官與參	書記官	審案 筆記者	整備局戰備課
長 課	長 課	軍務	長局務主	官副級高	官與參	長課務主	主務				
							副官				
			員課務主								
			房官臣大	課局務主		房官臣大	課局務主				
			了結	提出	受領	了結	提出	受領	號替		
			昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	年月日			
			年	年	年	年	年	月	月		
			月	月	月	月	月	日	日		
			日	日	日	日	日				

閣議講議案

總動員物資使用收用令制定、件

軍需品等ノ生產力擴充上現存物資ノ最モ有效ナル集中利用ヲ圖ル
爲國家總動員法第十條ノ規定ニ基ク勅令ヲ制定スルノ必要アリ仍
テ別紙勅令案ヲ提出ス

右閣議・調フ

年 月 日

内閣總理大臣

大藏大臣

人 章

0701

0702

陸軍大図

右

左

海軍大図

海軍工大図
拓務大図

内閣總理大臣

(管田納)

アジア歴史資料センター

總動員物資使用收用令

第一條　國家總動員法第十條ノ規定ニ依ル軍用ニ供スル物資、其ノ生産若ハ修理ニ要スル物資又ハ命令ヲ以テ定ムル總動員物資ノ使用又ハ收用ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　主務大臣前條ノ命令ヲ發シ又ハ總動員物資ノ使用若ハ收用セントスルトキハ内閣總理大臣ニ協議スベシ

第三條　主務大臣總動員物資ヲ使用又ハ收用セントスルトキハ當該物資ノ所有者ニ對シ使用令書又ハ收用令書ヲ送達スベシ但シ已ム「機械専由アルトキハ當該物資ノ管理者ニ對シ之ヲ送達スルコトヲ得」前項但書ノ場合ニ於テハ管理者ハ遲滞ナク當該物資ノ所有者ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第四條　前條ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ當該物資ニ付知レタル権利者ニ對シ其ノ旨ヲ通知シ且軍機保護上必要アル場合ア除クノ外命令ノ

定ムル所ニ依リ之ヲ公告スベシ
使用又ハ收用セラレタル總動員物資ニ付權利ヲ有スル者ハ前項ノ公
告アリタル日より一月以内ニ命令ヲ以テ定ムル事項ヲ主務大臣ニ届
出ツベシ

第五條 使用令書又ハ收用令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 使用又ハ收用スベキ物資ノ名稱、種類及數量並ニ所在ノ場所
 - 二 物資ノ引渡シ時期及場所
 - 三 其ノ他必要ト認ムル事項
- 第六條 總動員物資ノ所有者使用令書又ハ收用令書ノ送達ヲ受ケタルト年八週満ナク當該物資ニ付權利ヲ有スル者ニ其ノ旨ヲ通知スベシ
第七條 使用令書又ハ收用令書ノ送達ヲ受ケタル者當該物資ニ付權利ヲ有スル者ニ其ノ理由ニ因リ使用又ハ收用ニ際スルコト能ハズルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ週満ナク其ノ理由ヲ
具シ之ヲ主務大臣ニ報告スベシ

第八條　主務大臣使用令書又ハ收用令書ヲ送達シタル後ニ於テ已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ當該物資ヲ使用又ハ收用せザルモノト決定シタルトキハ使用令書又ハ收用令書ノ送達ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ旨ヲ通知スペシ

第四條第一項及第六條ノ規定ヘ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第九條　主務大臣當該官吏ヲシテ使用又ハ收用スベキ總動員物資ノ引渡ヲ受ケシムルトキハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十條　當該官吏總動員物資ノ引渡ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ受領調査ヲ作り其ノ謄本ヲ當該物資ノ所有者又ハ管理者ニ交付スベシ

第十一條　總動員物資ヲ使用スル場合ニ於テハ當該物資ノ引渡アリタル時期ニ於テ政府其ノ使用権ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間莫ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ニ妨ダガゼルモノハ此ノ限ニ在ズ
總動員物資ヲ收用スル場合ニ於テハ當該物資ノ引渡アリタル時期ニ

於テ政府其ノ所有權ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

第十二條　主務大臣總動員物資ノ使用又は廢止スルトキヘ當該物資ノ所

有者ニ引渡通知書ヲ送達スベシ但シ所有者ノ所在ヲ確知スルコト能
ハザルトキハ命令ヲ定ムル所ニ依リ公告ヘ以テ之ニ代フルコトアリ得

第四條第一項及第六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　引渡通知書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
一、使用又廢止スベキ物資ノ名稱、種類及數量並ニ所在ノ場所
二、物資ノ引渡シノ時期及場所
三、其ノ他必要ト認ムル事項

第十四條　總動員物資ノ使用權ヘ引渡通知書ニ記載スル引渡シノ時期ニ
於テ消滅ス

第十五條　國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ヘ使
用又ヘ收用ニ因ル通常生ベキ損失トス
損失ノ補償ヲ請求セントスル者ヘ使用又廢止又ヘ收用アリタル後命

令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ請求スベシ但シ使用ニ因ル損失ノ補償ニ在
リナハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ於テ之ヲ請求スルコ
トヲ得
第十六條 使用又ハ收用シタル物資ニシテ先取特權、質權又ハ財團抵
當權ノ目的ナル場合ニ於テハ政府ハ當該物資ニ付交付スペキ補償金
ヲ供託スベシ

先取特權者、質權者又ハ財團抵當權者ハ前項ノ供託金ニ對シテモ其
ノ權利ヲ行フコトヲ得
第十七條 行政官職ハ使用又ハ收用セントスル總動員物資ニ關シ國家
總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ總
動員物資ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ當該物資、機器
等類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其
ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十八條 本令中主務大臣トアルハ軍機保護上其ノ他軍事上特ニ必要

アル物資ノ使用又ハ收用ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

前項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又
ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋

廳長官トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

軍需品等ノ生産力擴充上現存物資ノ最モ有効ナル集中利用マ圖ル爲軍用ニ供スル物資、其ノ生産、修理ニ要スル物資其ノ他ノ總動員物資ニ付之ガ使用又ハ收用マ圖スノ必要アルニ由ル

參
照

國家総動員法抄

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家総動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條若ハ第十四條ノ規定ニ依ル處分第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通若ハ有價證券ノ廉幕、引受若ハ買入ノ命令又ハ第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

第三十一條 政府ハ國家総動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得